

2019年12月19日

都道府県 指定都市障害保健福祉主管部（局）長 殿  
（特非）全国要約筆記問題研究会・各支部 御中  
全難聴加盟団体 御中

## 2019年度 全難聴「要約筆記事業研修会」のご案内

一般社団法人 全日本難聴者・中途失聴者団体連合会  
理事長 新谷 友良  
要約筆記部長 宇田川芳江

時下、益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。日頃は、当会の事業運営に格別のご尽力賜り、心から厚く御礼申し上げます。

全難聴では、要約筆記者事業に関わる方々が必要な知識を学ぶことのできる研修会を今年度も開催いたします。関係する方々にご周知いただきまして、多くの方々のご参加をお願い申し上げます。

### 記

#### 1. 目的

聴覚障害者が、要約筆記の特質を理解したうえで要約筆記事業の現状を俯瞰し、地域における格差解消や要約筆記事業のさらなる拡充に取り組む力をつける。

#### 2. 日時

2020年3月21日（土） 13時00分～17時00分  
3月22日（日） 9時30分～15時00分

#### 3. 会場

長野市生涯学習センター 4F 大学習室1  
〒380-0834 長野市大字鶴賀間御所町 1271-3 TOiGO（トイゴ）

#### 4. 共催

一般社団法人 全日本難聴者・中途失聴者団体連合会  
特定非営利活動法人 信州難聴者協会

#### 5. 参加対象者

聴覚障害者及び要約筆記関係者

#### 6. 募集人数 80名（先着順）

## 7. 研修会の主な内容

【3月21日】

1. 意思疎通支援事業を中心とした障害者施策の概要  
厚生労働省 社会・援護局障害保健福祉部  
企画課自立支援振興室 室長補佐 塩野 勝明氏
2. 障害者総合支援法地域生活支援事業意思疎通支援事業における  
要約筆記者派遣（広域的な派遣）に関するアンケート調査報告  
（要約筆記部）
3. 広域的な派遣のあり方を考えるパネルディスカッション

【3月22日】

1. 聴覚障害者にとって情報がアクセシブルな社会とは  
全難聴理事長 新谷友良
2. 要約筆記利用ハンドブックを利用して、難聴者が上手に要約筆記を  
利用していくために  
パネルディスカッション
3. 音声認識の現状  
（情報文化部）

## 8. 申込方法

- ① 申込用紙（別紙1）を、1月17日（金）までに全難聴の事務局へメール  
またはFAXで送ってください。

受講料は年末年始休業をはさむため、1月6日（月）～1月17日（金）に、  
指定振替口座にご入金ください。

- ② 全難聴事務局にて入金確認後、受付確認票をメールまたはFAXにて連絡  
いたします。ご入金により受講受付が完了しますのでご注意ください。  
なお、入金後のキャンセルについては返金できません。

9. 参加費 受講料 8,000円

## 10. その他

- ① 宿泊については、各自で申し込みをお願いします。
- ② 情報保障は、要約筆記、手話通訳、ヒアリンググループを用意します。
- ③ 研修会の開催要綱、別紙は全難聴のHPからダウンロードできます。  
【全難聴HPアドレス】 <https://www.zennancho.or.jp/>
- ④ 研修会場にて、全難聴発行書籍、報告書等の販売を行います。

- ⑤ 申し込み・問い合わせ 【全難聴事務局】

FAX 03-3354-0046 TEL 03-3225-5600

メール [zennancho@zennancho.or.jp](mailto:zennancho@zennancho.or.jp)

【全難聴HPQRコード】

